

# 図書館からのお知らせ

## 移動図書館車「だんだん号」が新しくなります！

平成20年から運行してきた車両が老朽化したため、宝くじの助成金\*を受けて、新しい移動図書館車を整備します。4月から新しい車両で運行します。ぜひご利用ください！

\*宝くじの助成金とは…  
宝くじの収入を財源として、宝くじの社会貢献広報事業として行われているコミュニティ助成事業です。



## ティーンズコーナーの紹介

### 中高生のみなさんへ

図書館の「YAコーナー」がパワーアップして「ティーンズコーナー」にリニューアルしました！

- 人気の小説&文庫
- 進路や職業のヒントになる本
- 英語学習に役立つ本

などなど、10代のみなさんにぴったりの本が勢ぞろいしています！

さらに中央図書館の入口すぐにはティーンズ展示も！高校生おすすめの本や、みなさんに身近なテーマの本を紹介しています。

新しい本との出会いがあるかもしれません。気軽に立ち寄ってみてくださいね！



## 新たな本がたくさん増えました

島根水道株式会社様、株式会社ショーンキャプチャー様より、未来を担う青少年の健全育成を目的に図書購入費としてご寄附をいただき、中央・島根・東出雲図書館と、移動図書館車にたくさんの新たな本を整備しました。ぜひ、ご来館ください。



島根図書館 | 松江市島根町加賀1414番地 (島根公民館併設)  
TEL (0852) 85-9088 E-mail: shimane@lib-citymatsue.jp

東出雲図書館 | 松江市東出雲町揖屋1216-1 (東出雲複合施設ヨリアイーナ東出雲内)  
TEL (0852) 52-3297 E-mail: higashiizumo@lib-citymatsue.jp

リサイクル適性 (この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。)

印刷：(株)黒潮社

CHIDORI  
No.118

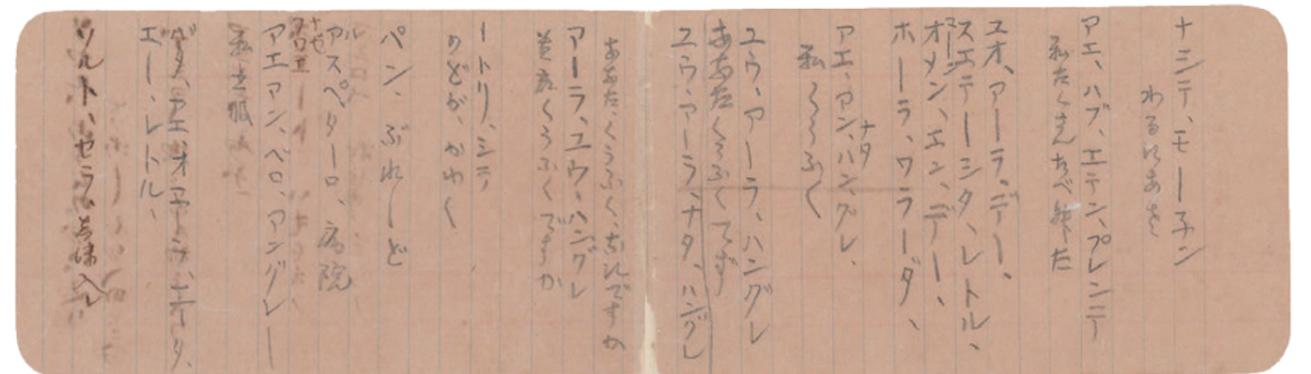
松江市立図書館報  
編集・発行/松江市立中央図書館  
〒690-0017 松江市西津田六丁目5-44  
☎ (0852) 27-3220  
2026年3月発行  
https://www.lib-citymatsue.jp/  
E-mail: chuou@lib-citymatsue.jp



### 小泉セツ英単語覚書帳 (松江市立図書館所蔵)

ハーンが教える英語を書き留めた、セツによる手書きの英単語帳です。英語を理解したいというセツの想いが伝わります。

図書館ホームページでデジタルデータを公開しています。ぜひご覧ください。



セツが聴き取り書き写したもののセツが記した「意味」(原文のまま)

ナシテ、モーネン  
わるえ(い)あさ  
アエ・ハブ・エテン・ブレンテ  
私たくさんたべました  
ユオ・アアラ・デー・スエター・レトル・オメン(マーン)・エン・デー・ホーラ・ワラーダ  
アエ・アン・ナタ・ハンダレ  
私くうふく  
ユウ・アアラ・ハンダレ  
あなたくうふくてず(です)  
ユウ・アアラ・ナタ・ハンダレ  
あなた・くうふく・なえ(い)ですか  
アアラ・ユウ・ハンダレ  
貴君くうふくてずか  
トトリ・シテ  
のどが・かわく  
パン・ぶれーど  
アスパターロ 病院  
ナゼ フワエ  
アエ・アン・ペロ・アングレ  
私立腹  
バタ・アエ・オエーラ・エータ・  
イー・レトル  
ソルト・セラ しほ入れ

二人の愛情が伝わる一文  
枠線部でハーンが言ったと思われる英語  
You are the sweetest little woman in the whole world.  
訳→あなたは全世界で一番かわいい女性です。

## 内容

表紙 小泉セツの英単語覚書帳  
見開き 小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)とセツの人生すろく  
裏表紙 図書館からのお知らせ



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

# 小泉八雲とセツの人生すごろく

ラフカディオ・ハーン  
小泉八雲  
Lafcadio Hearn



小泉八雲の妻  
小泉セツ



ハーンとセツ  
(熊本時代)

## 遊び方

まずはサイコロで“どちらの人生”から始めるか決めましょう

●1・3・5 → ハーンの人生から始める

●2・4・6 → セツの人生から始める

途中から二人は人生を一緒に歩んでいきます。

どんなドラマが待っているかは、進んでみてのお楽しみ！

※1コマ進むなどで動いた場合、止まったマスの効果は発動しません



## はじまり



<p><b>1874年 24歳</b> 混血の女性と結婚するが、当時の法律で禁止されていたため、2年後に別れる。 <b>1回休み</b></p>	<p><b>1869年 19歳</b> アメリカへ渡り、その後シンシナティでジャーナリストとなる。殺人事件を書いた記事が目ざされ、名をあげる。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>1866年 16歳</b> 学校で遊んでいる時の事故で左目を失明する。 <b>1回休み</b></p>	<p><b>1857年 7歳</b> 両親は離婚し、父親はインドへ行く。 <b>1コマ戻る</b></p>	<p><b>1854年 4歳</b> ハーンを残して母親がギリシャに帰る。 <b>1コマ戻る</b></p>	<p><b>1850年 6月27日</b> ギリシャのレフカダ島で生まれる。父はアイルランド人、母はギリシャ人。その後、父の実家のあるアイルランドに引っ越しをする。</p>	<p><b>1868年 2月4日</b> 松江藩士、小泉家の次女として生まれる。遠い親戚の稲垣家に子どもがいなかったため、生まれてすぐに稲垣家の養子になる。</p>	<p><b>1871年頃 3歳</b> 外国式の軍事訓練を見学。フランス人の士官ワレットから、虫眼鏡をもらう。</p>	<p><b>1876年 8歳</b> 内中原小学校へ入学。成績が良く、飛び級試験にも合格する。 <b>2コマ進む</b></p>	<p><b>1879年 11歳</b> 家計が苦しく、進級をあきらめる。悲しさと悔しさで1週間泣き続ける。 <b>1回休み</b></p>
--	--	---	---	--	--	--	---	--	---



島根県尋常中学校



西田千太郎



押印紙(印影)



ワレットからもらった虫眼鏡



セツの織見本帳

<p><b>1892年 7月 42歳 24歳</b> 念願の隠岐旅行に行く。下関から境港へ汽船で向かう途中、温泉津にも立ち寄る。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>11月</b> ハーンの熊本第五高等学校への転任に伴い、約200人に見送られ熊本へ行く。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>8月</b> 2人で伯耆方面へ旅行する。楽しみにしていた盆踊りが中止と知る。 <b>1回休み</b></p>	<p><b>7月</b> セツは、西田千太郎とともに杵築(出雲大社)に出かけたハーンと合流し、約2週間を一緒に過ごす。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>6月</b> 「庭のある武家屋敷に住みたい」というハーンの希望で北堀町(現ヘルン旧居)に引っ越す。 <b>1コマ進む</b></p>
---	---	--	--	--

セツはハーンから英語のレッスンを受ける。

ハーンはセツの妊娠を知り、帰化(日本人になること)について考え始める。

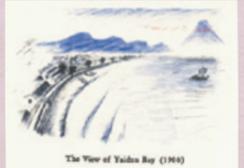


家族写真(神戸時代)

<p><b>1893年 43歳 25歳</b> 長男一雄誕生。その後、男の子2人と女の子1人が生まれる。 <b>もう一度サイコロを振る</b></p>	<p><b>1894年 9月 44歳 26歳</b> 日本に来た時の印象を書いた『知られぬ日本の面影』を出版。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>10月</b> ハーンは新聞記者となり、家族で神戸へ。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>1896年 2月 46歳 28歳</b> ハーンの日本への帰化が認められ「小泉八雲」となり、ハーンとセツは正式に夫婦となる。 <b>全員1コマ進む</b></p>	<p><b>6月</b> 一雄を連れて5年ぶりに松江に帰省。帰化の報告をする。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>9月</b> 帝国大学(今の東京大学)の講師として東京へ出発する。 <b>1コマ進む</b></p>	<p>東京の住まい探しで、ある屋敷を見学。ハーンが気に入ったが、セツは不気味に感じ、諦めさせる。後に化け物屋敷だと発覚する。 <b>1回休み</b></p>	<p>東京の富久町へ引っ越す。ハーンが家の隣にある大きな杉の木のある瘤寺を気に入る。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>1897年 3月 47歳 29歳</b> 親友である西田千太郎が病氣のため亡くなる。 <b>1回休み</b></p>	<p><b>8月</b> 静岡の焼津へ家族と訪れ、海水浴を楽しむ。そこで出会った山口乙吉の人柄と焼津の海を気に入り、毎年のように訪れる。 <b>もう一度サイコロを振る</b></p>
---	--	--	---	--	--	--	---	--	---

『知られぬ日本の面影』

『怪談』



八雲が描いた焼津海岸の風景(『Re-Echo』所収)

**1901年 51歳 33歳**  
瘤寺の杉の木が切り倒され、悲しむ。  
**1回休み**

新しい住まい探しに奮闘する。

## おわり

<p><b>1905年 37歳</b> 「思ひ出の記」を執筆し始める。 <b>全員2コマ戻る</b></p>	<p><b>9月</b> ハーンは心臓発作を起こし、セツに看取られながら亡くなる。(54歳) <b>全員2コマ戻る</b></p>	<p><b>8月</b> 焼津に滞在中のハーンと東京で留守番のセツはヘルン言葉の手紙を交わす。 <b>1回休み</b></p>	<p><b>4月</b> 「耳なし芳一」や「雪おんな」などの名作を集めた代表作の『怪談』を出版。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>1904年 2月 54歳 36歳</b> 早稲田大学に講師として招かれる。 <b>1コマ進む</b></p>	<p><b>1903年 53歳 35歳</b> 突然、帝国大学を辞めさせられる。 <b>1回休み</b></p>	<p><b>1902年 52歳 34歳</b> セツの夢であった一軒家を手に入れ、西大久保に引っ越す。</p>
--	---	---	---	--	--	---

### 参考資料

- 『八雲の妻 小泉セツの生涯』長谷川洋二／著
- 『小泉八雲事典』平川祐弘／監修
- 『思ひ出の記』小泉節子／著、『ひととき Vol.22 No.9』
- 『小泉八雲・松江』小泉凡／監修
- 『松江の俳人 大谷繞石』日野雅之／著、『小泉八雲展』県立神奈川近代文学館／編集
- 『小泉八雲一放浪するゴースト』池田雅之／監修
- 『心 個人完訳 小泉八雲コレクション』小泉八雲／著
- 『文学アルバム小泉八雲 ラフカディオ・ハーン』小泉時／共編
- 『小泉セツ—ラフカディオ・ハーン—の妻として生きて』小泉八雲記念館／編集
- 編集協力・画像提供/小泉八雲記念館・小泉家・島根県観光連盟